

札幌遠友夜学校記念館 建設募金のお願い

2020年3月1日



一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会

理事長 松井博和

夢と希望で地域・国・世界の未来を創る場
「札幌遠友夜学校記念館」を10,000人の皆さんとともに



© Naomi Darling Architecture, LLC

札幌遠友夜学校記念館イメージ図

1階：玄関、受付、展示室、ラウンジ、多目的ホール、トイレなど、2階：図書室、談話室、書庫など

<新渡戸稲造と札幌遠友夜学校>

日本で最初の大学、学士授与機関とし創立されたのが札幌農学校、現在の北海道大学です。その二期生、教育家、思想家、農学者であり五千円札の肖像にもなった新渡戸稲造が、貧しく日中働いて義務教育を受けられない青少年のために創設したのが遠友夜学校です。1894（明治27）年から1944（昭和19）年までの50年間続きました。

札幌農学校・北大の先生や学生、札幌独立基督教会の有志たち700人以上が教壇に立ったボランティア活動です。授業料は無料、5,000人以上が人格尊重・自由・平等・博愛のもとで学びました。新渡戸の「無欲の奉仕精神」「何人にも悪意を抱かず、すべての人に慈愛の心を持って」「学問より実行―人生の目的は人間として完成することにある」の教えが教育の原点となり、多くの有為の人材を輩出しました。

新渡戸稲造記念公園（札幌市中央区南4条東4丁目）に、現代のニーズにあった活動、実践の拠点となる「札幌遠友夜学校記念館」を大勢の皆さんとともに建設いたしたく、ご支援をお願いする次第です。あなたも“新渡戸の子”になりませんか。

<記念館建設に向けてのヴィジョン>

記念館活動は公的な役割を担いますので公の機関との連携はもちろんですが、民間の機関として皆さんの要望・アイデアを聞きながら、それぞれの思いを生かした温かく簡素な運営と、多彩な活動を考えています。現在、以下のような事業概要、運営を考えています。なお、本事業は、札幌市、札幌市教育委員会と相談しながら進めているものです。

◆ 事業概要

(1) 市民や道民など地域や国を結ぶ国内・国際交流、世界を学ぶ事業

目的：国内・国際社会のリーダー育成、国際平和、世界情勢、地球環境、貧困等

対象：道内の教育関係機関、諸外国教育機関との連携、各国留学生、日本人学生

(2) 講演、出前講義の幹旋、読書会、記念フォーラム、大学等のアウトリーチ活動

(3) 一般市民向け教養講座、音楽会、各種の教育プログラム（不登校児童・生徒の学びの場、進学塾、学習補習教室、障がい者の会、女性の会、相談会等）

(4) 展示、図書室、閲覧室の充実

(5) その他

◆ 運営

「考える会」役員・運営委員、新渡戸稲造記念遠友みらい塾 (<http://enyumirai.main.jp/>)、企業経営者、東地区連合町内会役員、北海道大学ならびに諸大学の教職員・学生やそれらOB・OG、市民ボランティア団体等、幅広い人材の参画を図ります。

◆ キャッチフレーズ

新渡戸稲造や内村鑑三などから札幌農学校の精神に影響を受けた人たちは”札幌の子”と呼ばれます。私たち”10,000人の新渡戸の子”として一緒に頑張ってくださいようお願いします。

<募金の方法>

◆ 記念館建設予定年 2023年

◆ 募金額 2,000円以上幾らでも結構です。今年は10,000人の力で3,000万円を目標にしております。3年後、身の丈に合った建物をと考えております。

◆ 納入方法

① 同封の専用の郵便振込用紙を用いるか、下記の銀行口座にお振込ください。

② ゆうちょ銀行ATMでの口座間送金

記号：19020 番号：3988211 加入者名：遠友夜学校を考える会

③ 北洋銀行本店営業部

普通預金 口座番号：6925551

加入者名：一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 記念館建設口座

④ 北海道銀行本店営業部

普通預金 口座番号：3274986

加入者名：(社)新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 記念館建設口座

◆ いずれの方法で納入されても領収書をお送りします。銀行口座に納入された方は恐れ入りますが、お名前とご住所を下記の事務局まで、郵便かFAX、メールでお知らせ下さい。

060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル

一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会

FAX：[011-241-1150](tel:011-241-1150) E-メール：info@nitobe-enyu.org URL：<http://nitobe-enyu.org/>

◆ 記念館完成時に寄付者ご芳名を掲載します(記載を希望されない方はお申し出てください)。

私たちは「札幌遠友夜学校記念館」の建設計画に賛同致します (50音順、2019. 5. 1現在)

池澤 夏樹 (作家)	佐藤 全弘 (大阪市立大学名誉教授)
石川 裕一 (株ぷらう社長・北大東京同窓会副会長)	鈴木 重統 (北海道日独協会会長)
植松 誠 (日本聖公会北海道教区主教)	仙北 富志和 (学校法人酪農学園学園長)
大友 浩 (札幌独立キリスト教会主管者)	丹保 憲仁 (北海道大学第15代総長)
大山 綱夫 (学校法人北星学園理事長)	寺島 実郎 (一般財団法人日本総合研究所会長)
小野 有五 (北海道大学名誉教授)	常田 益代 (北海道大学名誉教授)
嶽間澤 茂 (花巻新渡戸記念館館長)	藤井 茂 (一般財団法人新渡戸基金理事長)
勝谷 太治 (カトリック札幌司教区司教)	藤田 正一 (北海道大学名誉教授、平成遠友夜学校校長)
木原 直彦 ((公財) 北海道文学館名誉館長)	松井 博和 (北海道大学名誉教授 札幌農学同窓会理事長)
久世 そらち (日本キリスト教団札幌北部教会牧師)	松谷 有希雄 (国立保健医療科学院名誉院長)
工藤 慶一 (北海道に夜間中学をつくる会共同代表)	三島 徳三 (北海道大学名誉教授)
後藤 学 (社会福祉法人神愛園理事長)	小山 恵子 (東京女子大学同窓会会長)
小林 三樹 ((公財) 北海道環境財団理事長)	横田 篤 (北海道大学大学院農学研究院院長)
齊藤 昇三 (武道講読会主宰)	横山 清 (株アークスグループ代表取締役社長)

「ひと言応援」 私たちも21世紀の札幌遠友夜学校設立を応援しています (50音順、2020. 3. 1現在)

- 荒川裕生 (札幌大学理事長・元副知事) 「力を合わせて未来を拓く拠点となって下さい」
- 有我充人 (地中熱のARIGAグループ社長) 「持続可能な北海道の未来を創る発信の場になって下さい」
- 石井純二 (北海道経済同友会代表幹事) 「北海道経済を牽引するリーダー育成の場となることを願っています」
- 石森秀三 (北海道博物館長) 「北海道の宝としての遠友夜学校の伝統が永続されることを願っています」
- 磯田憲一 (道文化財団理事長・HAL財団理事長・元副知事) 「北から新しい日本の文化が創られることを期待しています」
- 井原慶児 (在カナダ名誉領事・井原水産社長) 「北海道とカナダの交流がますます盛んになるよう期待しております」
- 岩田圭剛 (北海道商工会議所連合会会頭) 「太平洋の架け橋を超え、世界につながる人材の育成を願っています」
- 浦本元人 (北海道副知事) 「困難を乗り越え、世界に輝く北海道を実現する素晴らしい人材の育成を期待しています」
- 笠原正典 (北海道大学副学長) 「新渡戸博士の精神が継承され、新たな実を結ぶことを願っています」
- 北 猛俊 (富良野市長) 「富良野は北海道のヘソなのですが、遠友夜学校は北海道の文化のヘソになりますね」
- 藏田親義 (北海道日豪協会会長・札幌学院大学名誉教授) 「新渡戸稲造博士の思想が広く伝えられると良いですね」
- 小砂憲一 (アミノアップ会長) 「起業家精神の旺盛な人材育成もお願いいたします」
- 笹原晶博 (北海道銀行頭取) 「進取の精神を持ち、地域創生をリードする人づくりを願っています」
- 周 学佑 (台北駐日経済文化代表處札幌分處長) 「台湾と北海道の架け橋がまた1つ増えますね」
- 鈴木 章 (北大名誉教授・2010年ノーベル化学賞受賞者) 「新渡戸精神を世界中の若人と共に」
- 堰八義博 (北海道観光振興機構会長) 「観光振興につながる北海道の新たな魅力の創造・発信の場となることを期待しております」

瀬戸 篤 (小樽商科大学教授、ビジネススクール担当) 「札幌農学校精神をもった起業家人材を育成して下さい」
 瀬戸口剛 (北大工学研究院長・工学院院长・工学部長) 「世界中から集まる留学生と交流し学び合える場を願っています」
 竹花一成 (酪農学園大学学長) 「一次産業中心の産学官ネットワーク構築を期待しております」
 棚野孝夫 (白糠町長・北海道町村会会長) 「北海道第二の開拓期、地方再生のアイデアや実践に期待しております」
 土屋俊亮 (北海道副知事) 「新渡戸精神で、一次産業と観光を核に、北海道を元気にしていきましょう」
 長沼昭夫 (きのとや会長) 「札幌農学校や新渡戸稲造の精神を受継ぎ世界に飛躍する人材を育てて欲しいです」
 西川将人 (旭川市長) 「新渡戸先生の思いを受け継ぐ新たな拠点になる事を期待しています」
 西邑隆徳 (北大農学研究院長・農学院長・農学部長) 「日本の農学発祥の地から新しい農や食の文化を作して下さい」
 西村弘行 (前北翔大学学長・元北海道東海大学学長) 「北海道の産学官ネットワークの拠点になって下さい」
 広瀬兼三 (北海道新聞社長) 「学びあって、一歩前へ。新渡戸イズムは北海道の推進力です」
 広田まゆみ (北海道議会議員) 「地域共生の子育て、放課後スクール、大人の継続学習の場として下さい」
 藤井智幸 (東北大学大学院農学研究科教授) 「三本木原の開拓から現代に繋がる遠友夜学校に期待しています」
 藤沢澄雄 (北海道議会議員) 「日高からも各種講演のDVDにアクセスできることを願っています」
 町村 均 (町村農場代表) 「農学校同期の曾祖父町村金弥は、新渡戸氏と終生の縁を築きました。感謝」
 松岡市郎 (東川町長) 「対話・信頼の輪・融和」で築く「共和・共生・共栄」の社会づくりの拠点へ」
 宮坂尚市朗 (厚真町長) 「震災地から、人づくりと協働の力の大切さを強く感じています。頑張ってください」
 村上幸夫 (北海道エア・ウォータ_社長) 「北海道の魅力を伝える発信拠点となることを期待しています」
 モハンメド・ガナ・イサ (ナイジェリア連邦共和国大使) 「ナイジェリアと日本の架け橋になって下さい」
 安田光春 (北洋銀行頭取) 「北海道の将来を担う志を持った人材が集う拠点となることを期待しています」
 米沢則寿 (帯広市長) 「"Lofty Ambition"あふれる人たちの拠り所になるといいですね」

あなたの「ひと言応援」(35字以内)をお寄せください

下記のメールアドレス宛てご投稿いただけましたら次の冊子にお載せします。輪を広げましょう

新渡戸稲造萬里子両先生顕彰碑
 建立一九七九(昭和五四)年
 新渡戸稲造記念公園
 札幌出身の彫刻家・山内壮夫作
 藤田正一著『札幌遠友夜学校』より



夜学校設立の構想を持っていた頃の**新渡戸夫妻**
 一八九一(明治二四)年頃
 「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」
 HPより

一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会

事務局 〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8番地 愛生館ビル

FAX : [011-241-1150](tel:011-241-1150) E-メール : info@nitobe-enyu.org URL : <http://nitobe-enyu.org/>